

# **基盤整備事業など 農業施策の充実を**

**質問** 本市の基幹産業である農業は疲弊していると思われるが、その改善に向け基盤整備事業が施工されている。

新たに多様な農業形態を創る観点から、稲作一辺倒の事業を見直すべきである。

**市長** 受益者の合意形成を計り、県および関係機関の指導のもと、稲作、野菜、果樹等の組み合わせによる多様な生産基盤、構築の促進計画を策定する。

**質問** 地域振興を図ることが最大の目的であると考えるが、基盤整備事業と連携し、新たな品目開発を進め、強力に6次産業化に取り組み農業・農村の活性化に資すべきである。

**市長** 農家と異業種間の連携支援を行い、新商品開発に取り組みと共に、市の地域ブランドPRを進めるため、食の黄金文化奥州、農畜産物、生産者等



加藤 清 議員(無会派)

の物語による情報発信に努めていく。また、農業者への補助金制度、アドバイザー派遣、関係機関支援を図り、農家の意欲向上への取り組み強化を進める。



創設事業により整備した担い手支援新里育苗センター(胆沢区)

## **特別 委員会報告**

### **ILC調査特別委員会**

6月22日の委員会では、奥州市国際交流協会の渡部事務局長の出席のもと、「ILC誘致に係る奥州市国際交流協会の活動状況や今後の活動予定、市議会に対する要望」について調査しました。

同交流協会では、主に奥州市医療通訳派遣システムの構築と外国人住民によるILC誘致推進を目的とした委員会「ILCサポートコミッティ」による誘致活動の2つの取組みを進めており、医療通訳派遣システムでは県立胆沢病院と提携し、医療通訳ボランティアを派遣しております。サポートコミッティにはメンバー18人が所属し、外国人研究者等の現地視察ツアーの通訳を務めるなど様々な活動を実践しております。



活動内容を説明する奥州市国際交流協会 渡部事務局長(左側)

### **地域医療調査特別委員会**

特別委員会では市立医療機関の院長先生と、医療機関の現状と課題・目指す方向性などについて懇談を行いました。医療機関における医師及びスタッフ不足、施設整備の課題、地域医療連携の現状と在宅医療の取組み状況などのお話をいただき、医師招聘の問題や今後の地域医療連携の考え方、在宅医療と緩和ケアの必要性などについて質疑が行われました。



懇談する総合水沢病院 半井潔院長(左側)

- \*5/11 総合水沢病院 半井 潔院長  
衣川診療所 高橋 久行所長
- \*5/25 まごころ病院 及川 雄悦院長  
衣川歯科診療所 佐々木勝忠所長